

## 各種団体への説明会等にてお寄せいただいたご意見と区の考え方

### 【凡例】

- … 意見の趣旨を踏まえ、ビジョンに反映するもの
- … ビジョンまたはアクションプランに趣旨を記載しているもの
- … 事業等において既に実施しているもの
- … 事業実施等の際に検討するもの
- … 趣旨を反映できないもの
- … その他、上記以外のもの

	意見の概要	区の考え方	対応状況
<b>ビジョン全般</b>			
1	このビジョン策定は現場の声を聞いて作ったものか、役所の中の検討だけで作ったものか。農業、商店街など様々な問題、実状がある中なので現場を見て、現場の意見も踏まえて作らなければ意味ない。 (産業団体向け説明会)	ビジョン策定に向けて、練馬の未来を語る会を7回開催し、子育て、介護、農業の分野で活躍している方、無作為抽出による若者や子育て世代の方などと意見交換し、各種事業者団体や地域団体との話し合いも重ね、いただいたご意見やアイデアを踏まえて検討のうえ、素案を作成しました。	
2	数字目標は当たり前。あとは期間。どれくらいで出来るのか。それを念頭に入れて進めてもらいたい。 (産業団体向け説明会)	ビジョンの実現可能性を担保するため、ビジョンに基づくアクションプラン(素案)において平成27年度～29年度の年度別計画と目標を示しています。	
3	ビジョンにある事業の具体的な実行計画が示されていない。 (産業団体向け説明会)	ビジョンの実現可能性を担保するため、ビジョンに基づくアクションプラン(素案)において平成27年度～29年度の年度別計画と目標を示しています。	
4	諸施策の共通事項として区民の参加・区民との協働の推進を掲げることを提案する。「成熟社会」の構成員である区民が行政に参加・協働する仕組みを拡充することが有用と考える。区の財政負担軽減と生きがいの一挙両得になると考える。 (緑化委員会委員)	区では様々なかたちで区民参加・協働を進めています。構想編の「3(5)ビジョンの実現のために」において、区内の多様な活動主体との協働を記載しています。区民参加についても記載を追加します。	

	意見の概要	区の考え方	対応状況
<b>柱 子どもの成長と子育ての総合的な支援</b>			
<b>戦略計画2 「練馬こども園」の創設</b>			
5	小規模保育園は保育士資格者が法定5割では不安。 (練馬区青少年問題協議会委員)	小規模保育事業B型では、保育士の割合を6割以上にするるとともに、国や都の制度を活用し、資格取得を促進します。また、保育士以外の保育従事職員には区が定める研修を実施しています。	
6	認定制度の前提となっている11時間保育について、より多くの私立幼稚園の参画を促進するために、10時間以内としていただきたい。 (練馬区私立幼稚園協会向け説明会)	認可保育所では、児童福祉施設最低基準により、原則11時間開所となっています。練馬こども園は保護者が3歳からは預かり保育のある幼稚園に通わせたいというニーズを踏まえて実施するものです。保護者が選択できる環境を整備するため、認可保育所と同等の開所時間にしたいと考えています。今後も私立幼稚園協会と意見交換を行い、さまざまな課題の解決に努めていきます。	
7	「練馬こども園」という名称・制度を一旦保留し、区は幼稚園、保育園と三位一体となって今後の保育政策を話し合う場を設定して貰いたい。 認可園、認証保育所、小規模保育事業などの急激な増加に加え幼稚園における長時間保育が増加した場合、そこでの保育内容は重要な検討課題。幼稚園、保育園の垣根を越え、幼稚園、保育園とともに、保育の質を検討する場を設定して貰いたい。 (練馬区私立保育園協会)	「練馬こども園」は先行的に私立幼稚園を認定の対象として創設したいと考えています。 練馬区ならではの幼保一元化をめざし、将来的には幼稚園のみならず保育所についても「練馬こども園」として認定するため、その条件等について検討する、私立保育園協会を中心とした新たな議論の場を設定していきます。 また、保育の質向上等に向けた幼稚園・保育所合同での協議の場も設定するなど、認定要件を含め「練馬こども園」制度のさらなる発展について検討します。	
<b>戦略計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり</b>			
8	従来の学童クラブを廃止するのは切り捨てではないか。 (練馬区青少年問題協議会委員)	「ねりっこクラブ」は、「学童クラブ」と「学校応援団ひろば事業」それぞれの機能や特色を維持しながら一体的に運営し、すべての児童がともに過ごせる時間を作るなど、更なる充実を図ることを想定しています。	
9	(仮称)ねりっこクラブで小学4年生以上も通えるのは安心。また、学童クラブ以外の友達とも遊べるのは子どもにとってよいこと。 (練馬区青少年問題協議会委員)	すべての小学生が安全かつ充実した放課後を過ごすことができる環境の整備を目標として、「ねりっこクラブ」を推進していきます。	

	意見の概要	区の考え方	対応状況
10	部活動に参加しない中学生の居場所が不足している。図書館・学校図書室の開放を要望する。 (練馬区青少年問題協議会委員)	児童館の中高生タイム、青少年館を用意していますが、今後も充実を図ります。また、区立図書館の視聴覚室や会議室に一部中高生専用の閲覧席を設けたり、青少年向けの映画の上映会などを検討します。	
<b>戦略計画4 子どもたち一人ひとりに質の高い教育を</b>			
11	学校を、楽しみの場・健康づくりの場・高齢者等との触れ合いの場とする新しい学校観を持ってほしい。 (練馬区青少年問題協議会委員)	小学校区が地域コミュニティの核となっていると認識しています。引き続き学校が地域の中で何ができるかを考えていきます。	

	意見の概要	区の考え方	対応状況
<b>柱 安心して生活できる福祉・医療の充実</b>			
<b>戦略計画7 病床の確保と在宅療養ネットワークの構築</b>			
12	71万区民が安心して生活できる病床の確保をお願いしたい。 (産業団体向け説明会)	計画に位置付けた取組を着実に進めることで、病床を確保していきます。	
<b>柱 その他</b>			
13	生活保護について、区から320億くらいのお金が出ているが、生活保護者が不適切な使い方をしているのではないかと話している。よく調べるようにしてほしい。 (産業団体向け説明会)	生活保護制度について、区は適正な運用に努めているところです。疑問に思われる場合は個別に管轄の総合福祉事務所にご連絡ください。	
<b>柱 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備</b>			
<b>戦略計画9 鉄道、道路などインフラの整備</b>			
14	都営地下鉄大江戸線の延伸の部分について、年度が入っていない。絵に描いた餅にならないよう具体的な年度の記載をお願いしたい。 (産業団体向け説明会)	大江戸線延伸の具体的なスケジュールは事業予定者である東京都が決定するものですが、まだ示されておりません。 現在区は、大江戸線の事業化に向けた実務的な協議を都と進めています。こうした協議を進めていくことにより、手続きを促進していきます。	
15	西武池袋線について、保谷まで高架にしたい。 (産業団体向け説明会)	西武池袋線の大泉学園～保谷駅付近については、平成16年に東京都が策定した「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」に位置づけられています。引き続き東京都に当該区間の鉄道立体化を働きかけていきます。	
16	西武池袋線大泉学園駅以西の高架化はなくなったのか。 (産業団体向け説明会)	西武池袋線の大泉学園～保谷駅付近については、平成16年に東京都が策定した「踏切対策基本方針」において、「鉄道立体化の検討対象区間」に位置づけられています。引き続き東京都に当該区間の鉄道立体化を働きかけていきます。	
<b>戦略計画10 災害に強い安全なまちづくり</b>			
17	電信柱が区内では地中化が進んでいる。練馬でも一部商店街では取り組んでいるという話を聞く。区として今後進めてもらいたい。 (産業団体向け説明会)	都市計画道路や生活幹線道路の整備にあわせて、無電柱化を進めます。また、歩道の狭い既存道路においても、国や都の動向を注視しながら、モデル事業として無電柱化に取り組みます。	

	意見の概要	区の考え方	対応状況
<p><b>柱 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり</b></p>			
<p><b>戦略計画 1 3 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり</b></p>			
18	<p>製造業の扱いをどうするか。産業のベースは製造業。ただ、他区に比べると練馬は確かに弱い。今後練馬として製造業についてどう取り組むか示せれば良いのではないか。 (産業団体向け説明会)</p>	<p>今後区が目指す産業振興の個別具体的な方向性については、平成27年度に策定を予定している、(仮称)練馬区産業振興基本計画において示します。</p>	
19	<p>ものづくりの観点から一つ。大きな箱モノを作って人を呼び込んでどうか。今は、新商品の開発の援助等だけ。受け皿を作ることができれば、後継者問題の解決につながるのではないか。 (産業団体向け説明会)</p>	<p>新商品の開発の援助とともに、経営支援や産業見本市の開催など、販路拡大を支援します。大きな箱モノを作る考えはありません。</p>	
20	<p>6次産業として農業に取り組む必要があるのではないか。そうでなければ、内々的なものになってしまう。外に打ち出していくためにも6次産業化の取組が必要ではないか。それが産業全体の活性化、商店街の活性化につながり、練馬ブランドを高めることになると思う。 (産業団体向け説明会)</p>	<p>6次産業化の取組は、練馬の特色である農の魅力向上する取組のひとつとなります。まずは、農業・商業が連携した即売会「ねりマルシェ」の推進等により、練馬の魅力を向上しながら、農業者・商業者の交流を推進し、農産物の利用の拡大につなげていきます。</p>	
21	<p>地域プラットフォームと記載しているが、アスタリスクで書いてある内容と本文の内容に違いがあるのではないか。アスタリスクで書いてあるのは中小企業庁が認定したことが書いてあるが、本文で書いてあるのは、練馬区内でとりくむ練馬版地域プラットフォームであると思うので、書きかた等再度確認してほしい。 (産業団体向け説明会)</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、適切な記載を検討します。</p>	
22	<p>商店街の減少は都、日本全体の問題。商店街のあり方、練馬区の人口等の様態が変わっている中で、今までのやり方では上手くいかない。商店街の実態を把握してもらって計画に反映してもらいたい。農業にしても、商店街にしても後継者問題が大きい。北町の商店街にしても、以前は栄えていたのだが、今は本当に寂しい。どういふものを残していくか充分議論して取り組んでもらいたい。 (産業団体向け説明会)</p>	<p>商店街を取り巻く厳しい現状(個店の後継者問題、商店街の人材不足等)に対応するため、個店の経営安定化、やる気のある人材の発掘、新たな店舗の誘致等の取組を行う必要があります。 今回のビジョンでは、商店街を構成する個店の強化を大きな取組の一つとしています。魅力ある個店を育成し、商店街の基盤強化を行います。 また、空き店舗に意欲ある事業者が入居し、商店街の担い手となるよう支援を強化します。</p>	



	意見の概要	区の考え方	対応状況
<b>戦略計画 15 みどりあふれるまちづくり</b>			
23	緑化に関わる区民の参加をもっと拡充する余地はまだあると考える。特に、緑化協力員の制度を発展・整備し、保護樹林、公園、憩いの森等の点検や作業に当たらせることは有用と考える。 (緑化委員会委員)	みどりあふれるまちづくりを進めるには、地域の方々やボランティア団体のご協力が不可欠です。これまでも緑化協力員制度や自主管理公園・花壇制度等により区民の方の協力を頂いています。今後は、憩いの森等民有のみどりの管理にも参加いただける仕組みを検討していきます。	
<b>戦略計画 16 風を感じながら巡るみどりのまち</b>			
24	18項目の戦略計画には、どこを見ても文化の記載が出てこない。学びは少し入っているが、文化芸術は出てこない。何か理由があるのか。大変さびしい。文化振興の分野を区が認知しているという形ができると71万区民の住みやすい練馬の魅力につながっていく。 ( (仮称) 練馬区学びと文化の推進プラン策定懇談会 )	戦略計画16において、「自然と文化が織りなす魅力のまち練馬」として、文化芸術関連施設が連携した企画やイベントなどに取り組むこととしています。新しい成熟都市・練馬の実現に向けて、(仮称)練馬区学びと文化の推進プランを策定し、生涯学習の推進と文化芸術の振興に取り組んでいきます。	
25	はっきりと戦略計画の中に「文化」と記載してもらわないと分かりにくい。高齢化社会に向かって、文化芸術をどういう位置づけにするのか。物事は言葉から始まる。是非入れて、文化芸術の底辺、裾野を広げることへの区の姿勢を打ち出してほしい。 ( (仮称) 練馬区学びと文化の推進プラン策定懇談会 )	戦略計画16において、「自然と文化が織りなす魅力のまち練馬」として、文化芸術関連施設が連携した企画やイベントなどに取り組むこととしています。新しい成熟都市・練馬の実現に向けて、(仮称)練馬区学びと文化の推進プランを策定し、生涯学習の推進と文化芸術の振興に取り組んでいきます。	
26	今後東京オリンピックがある。観光の分野について、総体的なものがない。観光分野の外に向けた計画が一つ欲しかった。一つの例としては、練馬の産物を一か所で売る練馬版道の駅などを作って良いのではないかと。関越を降りた人も買いに来れると思う。 (産業団体向け説明会)	練馬区には農、アニメ、文化、食など多彩な資源があります。まずは今ある地域資源をさらに磨き上げ、区民や区外の人々が「まち歩き」「ポタリング」を通して練馬区の魅力を体験できる仕組みづくりを行います。練馬ならではの観光情報として国内外に広く発信することを追記します。オリンピック・パラリンピックと連動した観光企画についても、東京都全体の施策を踏まえ、区の取り組みを検討していきます。	
<b>その他</b>			
27	1月19日開催の「区長とともに練馬の未来を語る会」に出席したが、参加者の関心も熱意も高かった。予定時間を30分以上も超えたにも関わらず、最後まで区長が熱心に回答してくれたのは大変よかった。 (練馬区青少年問題協議会委員)	ビジョンをテーマに、参加された方々からは活発にご発言いただきました。今後もこうした会を開催し、皆様のご意見を伺いながら、より良い区政運営に努めていきます。	